

平成25年5月20日

南砺市長

田中 幹夫 殿

山田地区自治振興会

会長 西井 満年



南砺消防署新設に伴う市道大塚七曲線の消雪装置整備について

平成27年4月1日の開設に向けて、新南砺消防署（南砺市防災拠点施設）敷地造成工事が鋭意進められておりますが、同施設から、城端・井口・井波方面並びに、福光地域の東太美、西太美、太美山、広瀬館地区への出動路線となる市道大塚七曲線は、冬期間において、頻繁に圧雪となり大変危険な状態となっております。同路線は、福光東部小学校や越中山田駅を利用する児童、生徒の通学路でもあり、降雪時は、歩道除雪が通学時間帯に実施されないため、圧雪となった車道を歩いて通学しており、いつ事故が起きてもおかしくない状況が続いております。これまで毎年、圧雪とならない道路除雪を市除雪対策本部にお願いしておりますが、業者委託の関係からか一向に改善されません。

また、国道304号との交差点は、国道と市道の除雪をともに除雪トラックで行っており交差点の排雪が行われません。従いまして、圧雪が小山状態となり、凍結する1～2月には、同交差点で毎年数件の追突事故が発生しております。

つきましては、新南砺消防署からの多方面にわたる出動路線であること、並びに、交通安全・事故防止の観点から下記のとおり、消雪装置の整備を強く要望いたします。東海北陸自動車道福光IC、並びに、バロー北陸物流センターでの消雪用の深井戸は十分な水量が確保されていると聞いており、地下水による消雪を要望いたします。



記

1. 市道大塚七曲線の天池・縄蔵地内の消雪装置を平成27年11月末までに是非とも整備されたい。

山田地区自治振興会は、新南砺消防署の建設に際し、用地の提供、地元との調整等に万全の体制で協力しており、消雪装置整備には、市当局の格段のご配慮をお願いいたします。



■現場位置図



■除雪車通過後の道路状況



平成24年12月の状況

1月から2月は、気温が下がりザラメ状の雪が10～20cmの圧雪となり、スリップ事故を誘発する。また、気温が上がり溶け出すと凸凹が生じ、車両の通行に支障をきたしている。

